

自衛防疫対策にかかるアンケートの集計結果について

(社)岡山県畜産協会家畜衛生部

1.はじめに

家畜衛生部では、毎年県内の畜産農家全戸を対象として、経営形態や飼養頭数、また保有している消毒器等や、予防注射の実施状況などの、防疫資材調査を実施していますが、平成22年度は、資材調査を実施した畜産農家に対して、伝染病の発生予防対策や、今後、自衛防疫事業を推進していく上で参考とさせていただくため、より詳細な項目での「防疫対策にかかるアンケート調査」に、ご協力をいただき、実施しました。

多くの回答をいただきましたので、その集計結果を報告します。

2.調査戸数と回答戸数

支部	実施戸数/管内畜産農家戸数	回答戸数
岡山	54戸/235戸	54戸
井笠	77戸/167戸	27戸
高梁	81戸/280戸	34戸
真庭	77戸/234戸	32戸
津山	120戸/374戸	33戸
合計	405戸/1,290戸	180戸

(回答率44%)

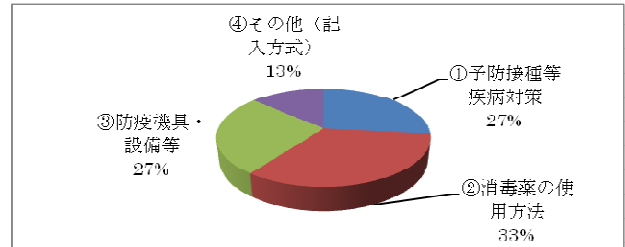
3.調査内容と回答について

(1) 自衛防疫対策を実施していく中での疑問点は何ですか。

- ①予防接種等疾病対策
 - ②消毒薬の使用方法
 - ③防疫機具・設備等
 - ④その他(記入方式)
- (チェック方式)

記入方式の回答については、野生動物(カラス等)対策や、効果のある予防接種・消毒薬など、自分でできる防疫対策についての取り組みに関心が高くみられ、また施設整備にかかる経費についての疑問も多く得られました。

図1 回答比率



【参考】口蹄疫ウイルスに効果があるとされている消毒薬

分類	商品名	効果が認められる最高希釈倍数(注)
酸素系消毒薬	クリップ® A	400倍
	ハイポール	400倍
	ハイポール 30	1,000倍
塩素系消毒薬	アジチン®ポリS	2,000倍
	クリン	2,000倍
	スカル	1,000倍
アルギン®系消毒薬	グロクリン	800倍
複合消毒薬	アノール®	400倍
NaOH添加消毒薬	クリップ®-100 (NaOH添加)	2,000倍

(農林水産省消費・安全局動物衛生課提供資料) 注:感作条件は室温30分

1. 消毒時の留意点

1. 次の場所で消毒を行ってください。

- (1) 農場入り口(農場に入る前に全ての車両や器具等の消毒)
- (2) 農場内の外部車両が停車する場所
- (3) 畜舎出入口の踏み込み槽(汚れたら直ちに交換してください。)
- (4) 畜舎周囲・農場外縁部

2. 消毒時には次のことに注意してください。

- (1) 消毒する前に泥や糞便などを落としてください。
- (2) 種類の違う消毒薬を混ぜて使わないでください。(効果が低下することがあります。)
- (3) 消毒薬が汚れた場合は直ちに交換してください。まだ汚れていなくても定期的に交換・散布してください。

(2) 防疫対策・畜産環境等に関する事で、
行政・畜産協会に望むことは何ですか。

(記入方式)

大きく5つの項目に分けて、多く寄せられた回答についてご紹介します。

A補助金の助成について

- ・予防注射の接種料金の助成
- ・消毒薬購入費の助成
- ・ネット等防疫設備の助成

B防疫指導について

- ・農家側の防疫体制整備だけでは防げないので、地域全体での防疫対策の呼びかけ（流通業者などへの危機管理意識の徹底指導）
- ・防疫チェック、情報の伝達など可能な範囲での巡回指導の実施
- ・愛玩家畜飼育者への防疫指導等

C情報の周知について

- ・伝染病発生時には防疫情報を伝達し、日々の不安を払拭してほしい
- ・ボツリヌスなどの各疾病についての情報提供
- ・農家向けの勉強会の実施等

D防疫対策について

- ・定期的な抗体検査を増やしてほしい
- ・野鳥対策等

Eその他

- ・関係機関との連携ある指導をしてほしい
- ・消毒薬・消毒機器等の使用について、具体的な指導がほしい
- ・周辺農家の減少に伴い、情報交換の場が減ってしまったので、巡回指導をしてほしい

(3) (2)と同じ項目において不安に感じる点は何ですか。

A動物等による被害について

- ・野生動物の行動、多さ
- ・野鳥、イノシシ対策の徹底等

B伝染性疾病について

- ・新種の病気、ウィルス等の伝播経路
- ・口蹄疫の初期症状を詳しく知りたい
- ・韓国の口蹄疫の情報

C飼育環境について

- ・高齢化、人手不足
- ・放牧地での野生動物や人との接触

Dその他

- ・観光旅行者への検疫対応
- ・T P P問題

(4) 其他のご意見・疑問点

- ・牧場に出入りする一般人に対して、防疫指導が必要ではないか
- ・疾病発生農場の防疫体制の情報を教えてほしい
- ・万が一、疾病が発生したときの、補償の種類、補償金額などを一覧表にして配布してほしい
- ・ワクチンと接種時期の一覧表がほしい
- ・伝染病を疑う症例が発生した場合、検査結果が判明するまでの間、隔離する場所がない
- ・埋設地、処分地の確保について指導してほしい

4.おわりに

いただいたご要望、ご意見の中には既に行政で対応をしていること（石灰の配布、防疫指導等）、また畜産協会で行っていること（消毒薬、立入禁止看板等の配布、ワクチン助成等）もありました。

このアンケートを通じて、飼養農家の皆さんが日頃から自衛防疫対策に強い意識を持ち、伝染性疾病発生防止に取り組んでいただいていることを再確認いたしました。

ご回答いただいた内容は、今後、畜産協会が自衛防疫対策を進める上での貴重な情報であり、行政等の関係機関とも共有して活用させていただきます。

また記名でご回答いただいた方には、畜産協会の各支部担当者から、電話、文書等により回答をさせていただきます。

ご協力をいただき、ありがとうございます。